

サケ稚魚放流情報 No. 3



令和 4 年 4 月 15 日
 岩手県水産技術センター
 漁業資源部
 TEL: 0193-26-7915
 FAX: 0193-26-7920

湾内の表面水温は 6～8℃で、上昇傾向にあり、平年並み～1℃低めとなっています。
 動物プランクトン沈殿量は平年よりも少ないものの、前年よりも多い傾向にあります。
 地先の海水温はおおむね 5℃を上回ったことから、**2g 以上^{*1}**となった稚魚については放流を進めて下さい。

また、**2g**に満たない稚魚の放流を避け、5月下旬に**8g 以上^{*2}**となる稚魚ができるだけ多くなるよう、飼育密度に注意して管理、放流してください。

1 表面水温 (℃)

	野田湾 ^{*3}	宮古湾	山田湾	唐丹湾	越喜来湾	大船渡湾
観測値(4/7, 11)	8.0	—	—	6.6	6.7	7.1
平年 ^{*4}	—	7.8	7.3	7.4	7.5	7.5
前年同期	9.1	9.1	8.6	9.8	9.5	10.1

各湾の表面水温は 6～8℃で、平年並み～1℃低め、前年同期より 1～3℃低めに推移しています。
 3月以降上昇傾向に転じ、平年並みに近づいています。

2 動物プランクトン沈殿量 (ノルパックネット鉛直 20m 曳き、ml/m³)

	野田湾 ^{*3}	宮古湾	山田湾	唐丹湾	越喜来湾	大船渡湾
観測値(4/7, 11)	0.85	—	—	0.76	0.83	0.66
平年 ^{*4}	—	1.46	1.06	1.51	1.22	1.22
前年同期	0.27	0.16	0.34	0.07	0.07	0.10

沈殿量は、各湾とも 0.6～0.8 ml/m³と平年よりも少なく、前年よりも多くなっており、大船渡湾を除いて増加傾向となっています。

3 その他

(1) 北上丸による沿岸海洋観測・動物プランクトン発生状況調査によるものです。なお、今年度より県北広域振興局水産部により野田湾の調査も開始しました (図1赤枠)。

※ 今期は宮古湾、山田湾で欠測となっております。

(2) いわて大漁ナビ (<https://www.suigi.pref.iwate.jp/>) の定地水温情報・衛星画像や、当センター発行の海況情報等も参考にしてください。

※1 これまでの放流実績から、県全体の放流の重心を 3月下旬、サイズを 2.0g 以上で放流した年級の回帰率が高い。

※2 湾外移動サイズ (1982 飯岡)。

※3 野田湾は、参考として H17、H19 に北上丸による調査結果と水産部が実施した結果を図示。

※4 平年は過去 17～19 年間の同期の平均値。

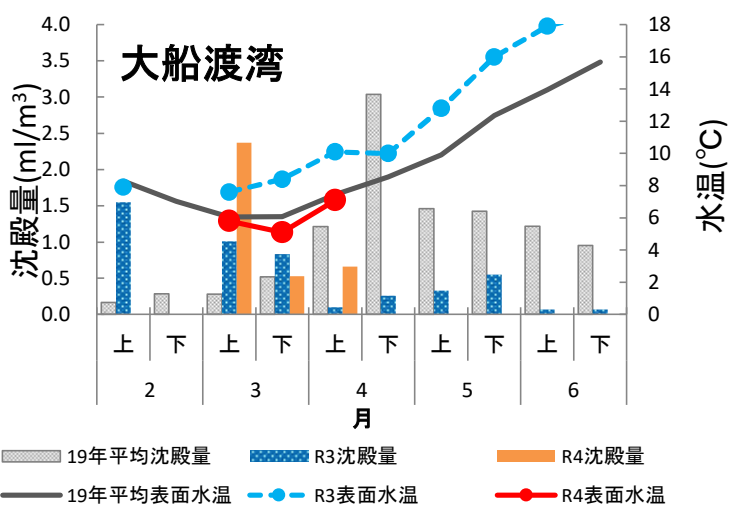
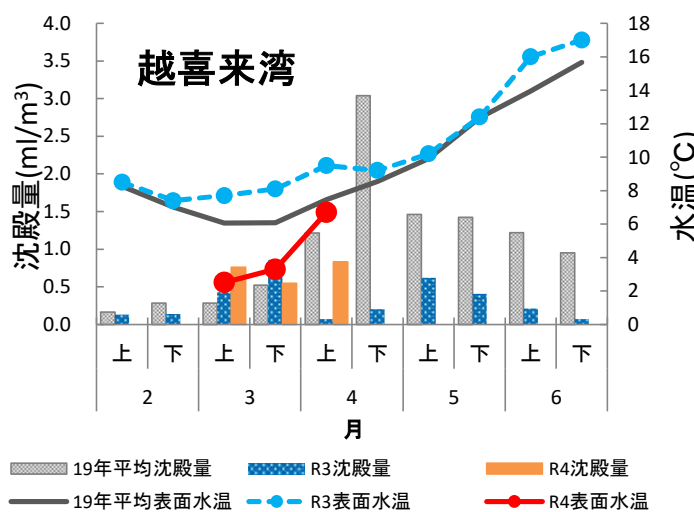
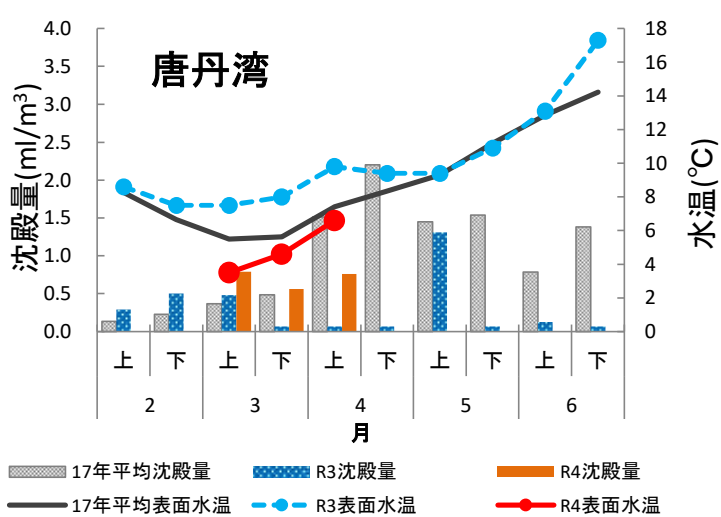
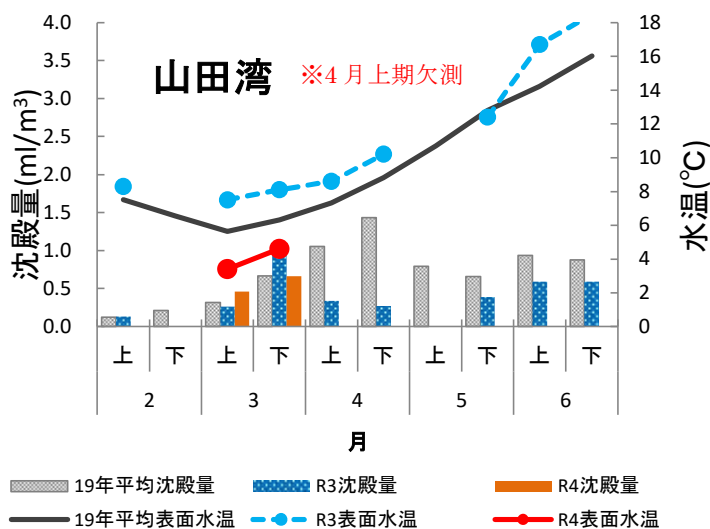
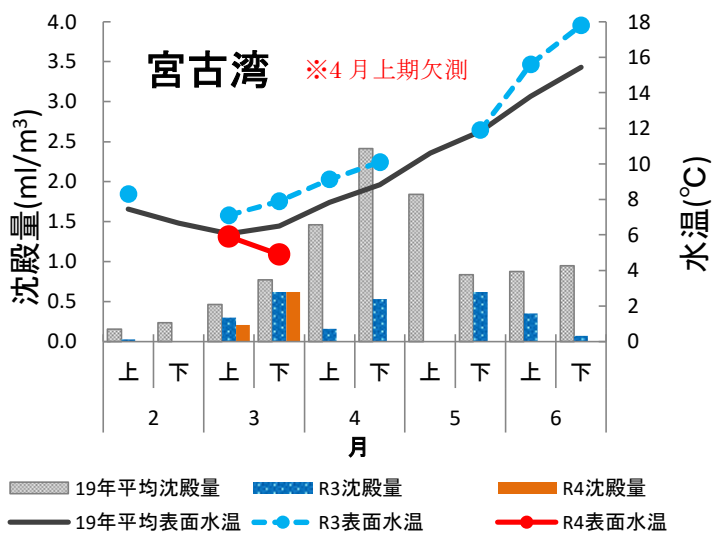
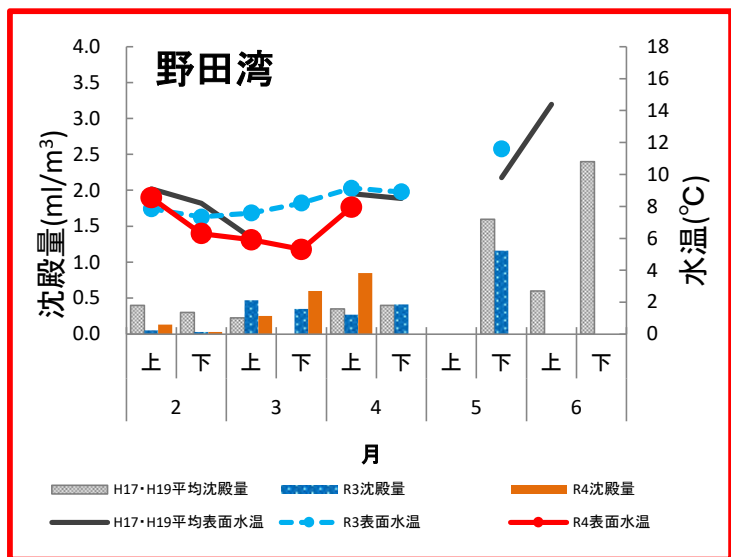


図1 6湾における動物プランクトン沈殿量、表面水温の季節変化